

1 家庭学習の意義

家庭学習がなぜ必要なのでしょう。学校で学習したことを復習したり、先に予習をしたりすることで、より一層の学習の定着が図られます。とくに高学年では、復習と予習の習慣化が、中学校や高校での自学自習に役立っていきます。「教えてもらう立場」から「学ぼうとする積極的な姿勢」を身に付けることは、これからの成長に欠かせません。家庭学習によって、次のような教育的効果も期待できます。保護者の皆様のご協力をお願いします。

① 学習内容の定着

- 学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで自信も付き、定着していきます。

② 脳の活性化

- 読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになるのです。鍛えれば、鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。小学生のうちからどんどん脳を鍛えましょう。

③ 学ぶ習慣を付ける

- 毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

④ がまん強さ・根気・集中力を付ける

- 家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて学習や読書の時間をしっかりと確保したいものです。そのためには、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族全員の協力が必要なのは言うまでもありません。長時間学習しても、成果があがるとは言えません。短時間で集中して勉強することが長続きするコツです。

⑤ 家族のふれあい

- 「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」「勉強が分からない時、教えたり調べたりするのを助けてあげる」など家庭学習をしている子供に親が関わることにより、コミュニケーションが図れます。家族のふれあいの機会が増えることは、子供の精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

2 基礎的・基本的な学習内容とは

おおまかに言って、学校で学習する内容(教科書にのっている内容)です。特に、次のような学習内容は学年間でつながりをもっていますから、学習した学年で確実に身に付けておかないと次の学年で困ることになります。

○算数の教科書に出ている程度の計算問題や文章問題を解くこと

○教科書に出ている漢字を、読んだり書いたりすること

○教科書に出ている程度の文章をすらすらと読み、理解すること

家庭学習を通して育てたい児童の姿

生活時間の有効な使い方を身に付けた児童
(テレビやゲームの時間より、勉強や読書、手伝いの時間が多い)

家庭学習の習慣や方法を身に付けた児童



基礎的・基本的な学習内容を身に付けた児童